

景気動向指数
平成 22 年 7 月分（速報）の概要

7月のC I（速報値・平成 17 年=100）は、先行指数：98.2、一致指数：101.8、遅行指数：85.7 となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.8ポイント下降し、2ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.17ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.57ポイント上昇し、13ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.5ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、15ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.76ポイント上昇し、12ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して2.2ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.93ポイント上昇し、4ヶ月振りの上昇、7ヶ月後方移動平均は0.60ポイント上昇し、7ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

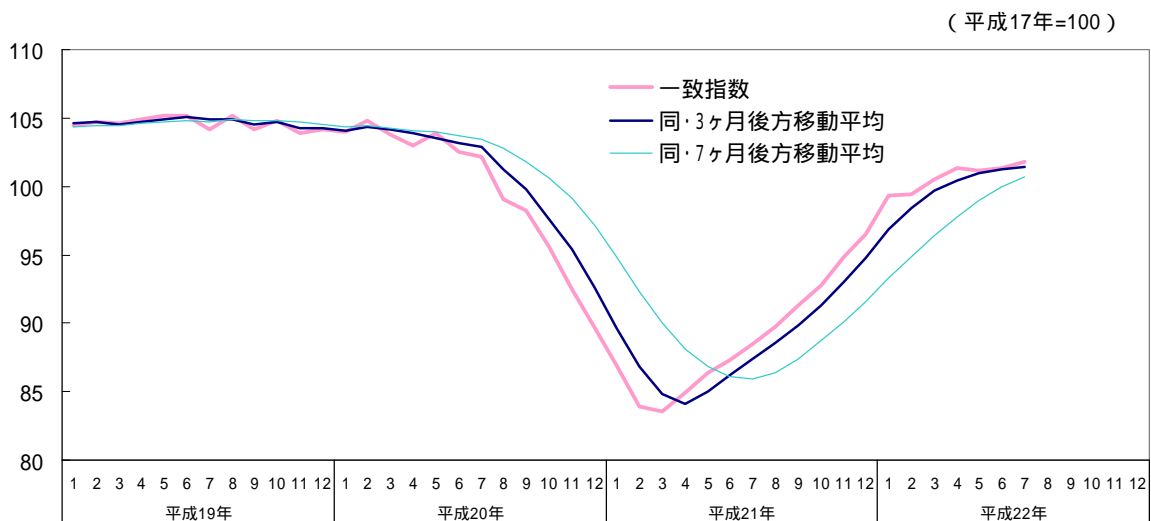
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C10：中小企業売上高(製造業)	0.40	C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.11
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.17	C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.04
C3：大口電力使用量	0.14	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.04
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.05	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.02
C1：生産指数(鉱工業)	0.03		
C4：稼働率指数(製造業)	0.00	C9：営業利益(全産業)	-0.00

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。